

平成29年度決算の概要

市民の皆さんが納める税金や国・県からの補助金は、市民生活のためにさまざまな形で使われています。決算は、それらのお金が、皆さんの暮らしやまちづくりにどのように活かされたのかをまとめたものです。今号では平成29年度の決算の概要をお知らせします。

【一般会計】

「一般会計」は、福祉・教育など市民生活全般に関わる基本的な事業を行う会計で、徳島市の会計の中心となるものです。

平成29年度の一般会計決算額は、歳入が964億7423万円、歳出が960億5888万円でした。翌年度へ繰り越す事業に充てる財源を差し引いた「実質収支」は、1億8007万円の黒字で、前年度の実質収支や財政調整基金への積み立てなどを除いた「実質単年度収支」では、3億3443万円の赤字となりました。

また、市の貯金である財政調整基金と減債基金残高は、平成29年度末で56億6950万円と、前年度より6億1984万円減少しています。

歳入

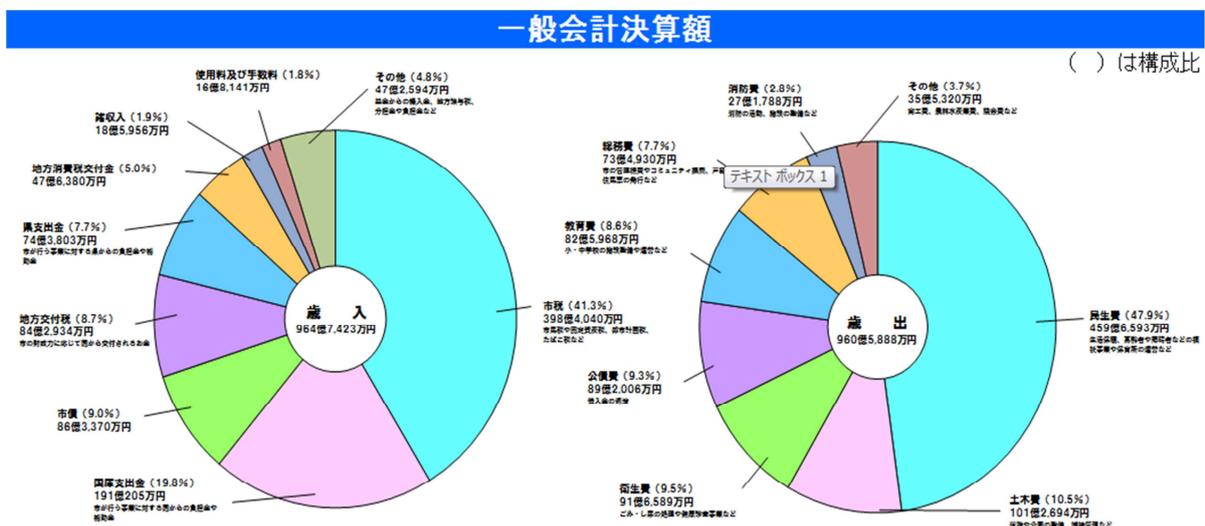
歳入総額は、前年度より11億878万円増加しました。

その主な要因は、地方交付税が2億4718万円減少した一方で、地域医療介護総合確保基金事業費県補助金や障害者総合支援費県負担金の増などにより、県支出金が6億833万円、臨時福祉給付金事業費国庫補助金や教育・保育給付費国庫負担金の増などにより国庫支出金が4億9051万円増加したことなどによるものです。

歳出

歳出総額は、前年度より15億4734万円増加しました。

その主な要因は、高機能消防指令センター等整備事業費の減などにより、消防費が1億8275万円減少した一方で、臨時福祉給付金給付事業費の増などにより、民生費が12億6569万円、宮島住宅建替事業費の増などにより、土木費が5億3468万円、空調設備整備事業費の増などにより、教育費が3億7104万円増加したことなどによるものです。



【特別会計・企業会計】

一般会計とは別に、保険料など特定の収入を財源として特定の事業を行う場合に経理を明確にするため設置している「特別会計」と、法律に基づいて地方公共団体が経営する水道やバス事業などの「企業会計」があります。

特別会計の決算

特別会計全体の歳入総額は661億38万円、歳出総額は643億8978万円、歳入歳出差引額は17億1060万円の黒字となりました。これは、下水道事業や介護保険事業などの黒字によるものです。

企業会計の決算

総収益は168億1400万円、総費用は160億5183万円、差し引き7億6217万円の黒字となりました。これは、水道事業や旅客自動車運送事業などの黒字によるものです。

表1 一般会計・特別会計決算額

区分		歳入	歳出	歳入歳出差引額
一般会計		964億7,423万円	960億5,888万円	4億1,535万円 (2億3,528万円)
特別会計	国民健康保険事業	299億5,508万円	298億215万円	1億5,293万円
	食肉センター事業	1億3,158万円	1億3,158万円	
	下水道事業	63億9,544万円	61億9,954万円	1億9,590万円 (8,363万円)
	奨学事業	2,700万円	1,740万円	960万円
	土地取得事業	8億6,620万円	8億6,620万円	
	住宅新築資金等貸付事業	989万円	989万円	
	介護保険事業	250億7,217万円	238億7,055万円	12億162万円
	後期高齢者医療事業	36億4,302万円	34億9,247万円	1億5,055万円

※注 歳入歳出差引額欄の()は、翌年度へ繰り越す事業に充てる財源

表2 企業会計決算額

区分	総収益	総費用	純利益(△純損失)
中央卸売市場事業	4億9,762万円	5億876万円	△1,114万円
商業観光施設事業	1億9,717万円	1億6,827万円	2,890万円
水道事業	51億4,687万円	43億6,346万円	7億8,341万円
旅客自動車運送事業	7億2,157万円	6億8,358万円	3,799万円
市民病院事業	102億5,077万円	103億2,776万円	△7,699万円